

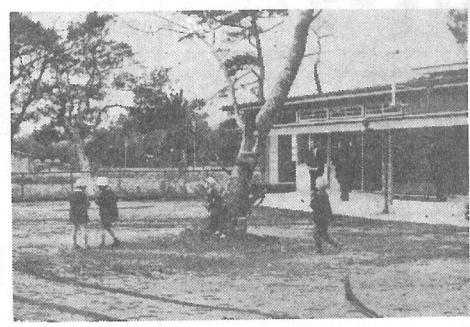
六十人収容の上堺 保育所が竣工

上堺保育所の新築については九月号広報でお知らせしましたが、ほぼ予定通りで竣工して去る十二月七日竣工式を行いました。

敷地約十五アールは、見養孝さんの犠牲的好意によるもので、建物は大木建築師の設計、吉岡建設会社の施工で、木造平家建三五一平方米(約一〇六坪)、北側道路に面して玄関ほか管理室を設け、中央に一間幅の廊下を取って、南側に育児室、保育室、遊戯室を配し、児童の保育上利便と保健衛生に抜かりない構造になっていきます。

工事費は国県補助一五〇万円、起債と町費五八一万円の計七三一万円。什器備品遊具等三六万一千円でした。

収容定員は六十人、国の定め規格を備えているので、昭和三十一年開設以来不便な上堺保育所もこれで都市なみの施設となり、児童たち



新しくできた上堺保育所で子供たちは遊び廻っている

ちも健康で幸福な保育を受けられるというものです。

なお、上堺保育所創設以来今日に至るまで、運営に参画し指導育成に力を注いでこられた左の方々に、町から感謝状が贈られました。

平山喜代次 伊東 巖

成人式は明治神宮で

一月十三日に挙行

今年の成人式は、日どりをくり上げて一月十三日に、明治神宮で挙行することになりました。

本年度は成人者が二、八十名に上りますので、バス四台を借上げ、午前七時半勢ぞろいして出発、十時前神宮に着、神前における厳粛な式典に参列、新しい社会人として

成人の権利と義務
成人になると法律上一人前

の感激に身を引きしめ、町長ほか団体役員及び先輩の激励に覚悟を新にし、終って国会議事堂、東芝化学会館、NHK等を見学して社会的認識を深め、最後に川崎大師に参詣し帰途に就く予定になっています。

権利にはいろいろあります。第一に政治に参画する選挙権があげられます。選挙権を行使するには選挙人名簿に登録しなければなりません。忘れずに登録の手続きをしましょう。

義務にもまた沢山あります。先ず年金へ加入する義務があります。職場を持って働き、厚生年金など被用者保険に加入している者以外は、必ず国民年金へ加入の手続きをしましょう。

結婚相談所を ご利用下さい

県では農村後継者の結婚に對し知事の祝辞、祝金、記念品を贈って祝福することになっています。横芝町の農村青年結婚相談所ではそうした結婚者祝福の手続きを扱っていますが、なお各地区に十名の相談員を置いて結婚の斡旋に努めています。しかし農村地帯では依然旧来の慣習によって親戚知人などを介して話が進められているので、相談所の利用度は極めて低調です。

これにはいろいろ原因があるようで、①一町村内だけでは話がまとまりにくい。②秘密が完全に守られるかが心配。③お役所仕事という感じが強く、気安く申込みにくいなどが挙げられます。

以上の点について県も各町村も同じように感じており、現在のあり方を改善して気軽に相談に応じられ、広い地域に連絡交流のできる仕組みにするように、構想を練っているとのことです。

この事業は大ぜいの人が利用する程よい成果をあげるものですから、相談員が悲鳴をあげるほどに活用したいものです。

渡辺 勅夫 川島比古男
若林仙太郎 浅野 清
斉藤浅之助 (敬称略)

年 新 賀 謹

- | | | | | | | |
|--------|----|----|----------|-----|----|----|
| 横芝町役場 | 町長 | 椎名 | 横芝町教育委員会 | 委員長 | 石橋 | 瑞夫 |
| 収入役 | 土屋 | 直勝 | 委員長 | 石橋 | 瑞夫 | |
| 総務課長 | 小高 | 猶次 | 委員 | 椎名 | 弥一 | |
| 企画課長 | 小高 | 猶次 | 委員 | 越川 | 薫郎 | |
| 建設課長 | 川島 | 春光 | 委員 | 伊藤 | 藤一 | |
| 税務課長 | 田中 | 哲司 | 委員 | 伊藤 | 藤一 | |
| 産業課長 | 佐瀬 | 光雄 | 委員 | 渡辺 | 祥嗣 | |
| 住民課長 | 押尾 | 光雄 | 委員 | 伊藤 | 藤一 | |
| 老人ホーム | 本間 | 重寿 | 委員 | 伊藤 | 藤一 | |
| 給食センター | 長 | 重寿 | 委員 | 伊藤 | 藤一 | |
| 給食センター | 長 | 重寿 | 委員 | 伊藤 | 藤一 | |
| 給食センター | 長 | 重寿 | 委員 | 伊藤 | 藤一 | |